

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名

【 岩手県 】 岩手県立福岡高等学校

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	生徒 369 名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	(1) 講演会や実技を通して、柔道を含めたスポーツ全般に対する興味関心の向上やスポーツを楽しむ心の育成を図る。 (2) オリンピックに興味をもつきっかけとする。 (3) メダリストである講師の講演や実技を通して、今後の人生における生き方を学ぶ。
5 取組内容	(1) 事前学習 1・2年生の体育において、9月～11月の期間、週1時間を体育理論の授業として実施。1年生は「東京オリンピック、政治経済、ドーピング等」について、2年生は「自己が選択した競技に関する歴史、ルールの変容、オリンピックムーブメント、パラスポーツ等」について、各個人で新聞作りを行い、オリンピックに関する知識を深めた。   (2) 講師による講演会・実技指導 平成30年1月16日、本校第一体育館にて「柔道を通じて学んだこと」と題し、杉本美香氏（柔道・ロンドンオリンピック銀メダリスト）による講演・実技指導を実施。

実技については、第一体育館に畳を柔道場一面分敷き、本校柔道部員および体育（武道）授業における柔道選択者の中から各クラス2名の希望者が講師からの実技指導を受講。



6 主な成果

（1）事前・事後アンケート結果からみた成果

- ① 生徒のオリンピックへの興味関心は、事前アンケート 65.6%から、事後アンケート 86.8%に増え、21.2%高まった。
- ② 平昌オリンピックへの興味関心は、事前アンケート 46.0%から、事後アンケート 76.4%に増え、30.4%高まった。
- ③ 2020 年東京オリンピックに対する興味関心は、事前アンケート 89.6%から、事後アンケート 95.1%に増え、5.6%高まった。
- ④ 選手・スタッフ・ボランティア等、オリンピックに何かしら関わりたい（参加したい）という生徒は、事前アンケート 28.2%から、事後アンケート 36.1%に増え、7.9%高まった。
- ⑤ 柔道競技への興味関心は、事前アンケート 48.5%から、事後アンケート 89.6%に増え、41.1%高まった。

以上の結果から、目標（1）（2）に挙げている、生徒のオリンピックに対する興味関心は十分に高まったと言える。

（2）講師からいただいた講演内容からみた成果

	① 目標は高くても、いつ持っても良い。焦らず、目指すべきものが見つかったら、それに本気で向き合い、達成しようと諦めず努力していくこと。何歳になっても夢を持って良い。それに立ち向かう勇気をもつことで、辛いことも乗り越えていける。 ② どんなに辛く苦しいことがあっても、笑顔でいること。それが、周りの人々を幸せにし、平和にし、逆に周りから応援されるようになる。 ③ 他人に関心をもつこと。他人のことを考えられる人になること。特に自分が弱い状態にいる時、支えてくれる人たちを大切にする。 ④ 決断するときは、他の人からアドバイスをもらう。 ⑤ 何事も最後に決めるのは自分。 以上、講演会を通して、生徒は今後の生きる指針となる言葉をたくさんいただいた。講師の明るく笑顔で元気な姿が、生徒らの気持ちをすがすがしく、そして前向きな思考にさせていただいたことが、今回の最大の成果と感じている。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	本校では、体育授業において「武道」の学期を設け、柔道もしくは剣道を選択し、技能や体力だけでなく、武道特有の礼節や相手への敬意等を伝統的に学んでいる。 その成果を発表する場として、「校内武道大会」を毎年開催し、平成29年度で第99回を数える伝統的な行事が根付いている。 そのような武道が根付いている学校であるため、武道とオリンピックを関連づけながら、柔道を含めたスポーツやオリンピックに興味関心をもってもらえるような講演会にさせていただいた。 また、実技には柔道選択をしていた生徒から希望者を募り、各クラス2名ずつ参加し、さらなる興味関心を高めた。 実技参加者以外の生徒も柔道の魅力や迫力に触れられるよう、畳を囲み見やすい配置とした。
8主な課題等	事前アンケートを取った時期が、体育理論での新聞作りが終了した後（オリパラムーブメント事業実施がこの後に決定）だったため、オリンピックへの興味関心データが高く出た可能性がある。 講演会等実施の場合、事業期日等を年度初めから年間行事予定や年間授業計画に入れておくことで、年間を見通した系統的計画的な事前学習や事業実施、そして事後学習へとつなぐことができると思われる。
9来年度以降の実施予定	これまでも体育授業「体育理論」において調べ学習を行い、新聞作りを行うことでオリンピックに対する理解を深めてきた。 来年度以降もこの調べ学習を継続し、特に2020年東京オリンピックに関する理解と意義を深めながら、機会があれば講演会等で生徒のさらなる興味関心を高め、オリンピック・パラリンピック教育をより一層実りあるものとしていきたい。